

製品名: FGF2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80535**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

抗原情報

遺伝子名	FGF2
別名	BFGF; FGFB; HBGF-2; FGF2
遺伝子 ID	2247.0
SwissProt ID	P09038
免疫原	大腸菌で発現した FGF2 の精製された組み換え断片。

背景

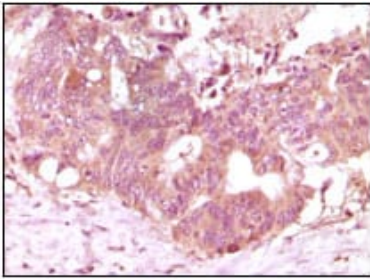
FGF2 は、線維芽細胞増殖因子 (FGF) ファミリーの一員です。FGF ファミリーのメンバーはヘパリンに結合し、広範な細胞分裂促進作用および血管新生促進作用を有します。FGF2 は単鎖ポリペプチド増殖因子であり、創傷治癒過程において重要な役割を果たし、強

力な血管新生誘導因子です。その塩基性 pH 値から、この因子は FGF-2 (塩基性 FGF、bFGF) と命名されています。fgf-2 遺伝子内の代替開始部位を利用することにより、18~24 kDa のサイズにわたる、いくつかの異なる形態のヒトタンパク質が存在します。線維芽細胞増殖因子 1 と 55% のアミノ酸残基同一性を持ち、強力なヘパリン結合活性を有します。この増殖因子は、中胚葉および神経外胚葉系統の様々な細胞種において、DNA 合成を極めて強力に誘導します。もともと、その化学的性質に基づき、酸性線維芽細胞増殖因子 (線維芽細胞増殖因子 1) と区別するために、塩基性線維芽細胞増殖因子と命名されました。

研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、PI3K-Akt シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路

画像データ



DAB 染色による FGF2 マウス mAb を使用した細胞質局在を示すパラフィン包埋ヒト直腸腺癌組織の免疫組織化学分析。